

| 区分 | プログラム | 講師 *敬称略、所属は収録時情報 | 講義時間 | 収録年月 | 公開年月 |
|---------|-------------------|---|------|--------------------|---------|
| 基礎研修(1) | がん対策 | 厚生労働省 健康・生活衛生局がん・疾病対策課 戸石 輝 | 33分 | 2023年9月 | 2024年2月 |
| 基礎研修(1) | 相談支援 | 愛媛大学医学部附属病院 塩見 美幸 | 36分 | 2023年3月 | 2024年2月 |
| 基礎研修(1) | 相談支援Ⅱ | 三重大学医学部附属病院 愛媛大学医学部附属病院 堀口美穂 塩見 美幸 | 27分 | 2024年6月 2023年2月 | 2025年2月 |
| 基礎研修(1) | 社会資源 | 国立がん研究センター東病院 サポートイブケアセンター／がん相談支援センター 坂本 はと恵 | 76分 | 2022年11月 | 2023年2月 |
| 基礎研修(1) | 臨床腫瘍学 | 国立がん研究センター中央病院 腫瘍内科 下井 辰徳 | 63分 | 2023年12月 | 2024年2月 |
| 基礎研修(1) | 緩和ケア | 国立がん研究センター中央病院 緩和医療科 荒川 さやか | 45分 | 2024年12月 | 2025年2月 |
| 基礎研修(1) | 精神腫瘍学 | 東邦大学医療センター大森病院 梅澤 志乃 | 59分 | 2023年12月 | 2024年2月 |
| 基礎研修(1) | 放射線治療 | 国立がん研究センター中央病院 放射線治療科 稲葉 浩二 | 33分 | 2022年10月 | 2023年2月 |
| 基礎研修(1) | 薬物療法 | 国立がん研究センター中央病院 腫瘍内科 北台 留衣 | 25分 | 2025年1月 | 2025年2月 |
| 基礎研修(1) | コミュニケーションスキル | 国立病院機構大阪医療センター 関根 知嘉子 | 32分 | 2022年11月 | 2023年2月 |
| 基礎研修(1) | がん相談支援センターに期待すること | NPO法人GISTERS 櫻井 公恵 | 24分 | 2023年11月 | 2024年2月 |
| 基礎研修(1) | 手術療法 | 日本大学医学部 櫻井 裕幸 | 59分 | 2024年12月 | 2025年2月 |
| 基礎研修(2) | がん予防 | 国立がん研究センターがん対策研究所 志賀 久美子 | 10分 | 2023年11月 | 2024年2月 |
| 基礎研修(2) | がん検診 | 国立がん研究センターがん対策研究所 細野 覚代 | 30分 | 2024年12月 | 2025年2月 |
| 基礎研修(2) | 診療ガイドラインとその活用 | 国立がん研究センターがん対策研究所 滋賀県立総合病院 櫻井 雅代 岡村 理 | 68分 | 2023年11月 | 2024年2月 |
| 基礎研修(2) | 支持療法 | 国立がん研究センター中央病院 患者サポートセンター 藤井 恵美 | 65分 | 2022年10月 | 2023年2月 |
| 基礎研修(2) | 臨床試験 | 国立がん研究センター中央病院 臨床研究支援部門 国立がん研究センターがん対策研究所 中濱 洋子 石川 文子 | 44分 | 2022年11月 | 2023年2月 |
| 基礎研修(2) | 高齢者とがん | 国立がん研究センター東病院 精神腫瘍科 小川 朝生 | 48分 | 2023年12月 | 2024年2月 |
| 基礎研修(2) | AYA世代とがん | 京都大学大学院医学研究科 竹之内 直子 | 45分 | 2022年11月 | 2023年2月 |
| 基礎研修(2) | 相談対応の質の評価 | 神戸大学医学部附属病院 酒見 惇子 | 51分 | 2023年4月 | 2024年2月 |
| 基礎研修(2) | がん情報サービスの使い方 | 国立がん研究センターがん対策研究所 宮本 紗代 | 34分 | 2021年11月 | 2022年2月 |
| 基礎研修(2) | がんゲノム医療 | 国立がん研究センター中央病院 先端医療科 小山 隆文 | 38分 | 2024年12月 | 2025年2月 |
| 基礎研修(2) | 患者会・ピアサポーター | 群馬大学医学部附属病院 渡辺 恵 | 32分 | 2022年11月 | 2023年2月 |
| 基礎研修(2) | 在宅医療 | 誠心会井上病院 竹山 由子 | 50分 | 2022年10月 | 2023年2月 |
| 基礎研修(2) | 肺がん | 国立がん研究センター中央病院 呼吸器内科 新野 祐樹 | 36分 | 2024年12月 | 2025年2月 |
| 基礎研修(2) | 乳がん | 国立がん研究センター中央病院 乳腺外科 小川 あゆみ | 35分 | 2022年10月 | 2023年2月 |
| 基礎研修(2) | 大腸がん | 国立がん研究センター中央病院 消化管内科 高島 淳生 | 45分 | 2022年10月 | 2023年2月 |
| 基礎研修(2) | 胃がん | 国立がん研究センター中央病院 胃外科 吉川 貴己 | 41分 | 2023年11月 | 2024年2月 |
| 基礎研修(2) | 前立腺がん | 国立がん研究センター中央病院 泌尿器・後腹膜腫瘍科 松井 喜之 | 30分 | 2023年2月 | 2023年2月 |
| 基礎研修(2) | 肝胆膵がん | 国立がん研究センター中央病院 肝胆膵外科 水井 崇浩 | 27分 | 2022年10月 | 2023年2月 |
| 基礎研修(2) | 血液がん | 国立がん研究センター中央病院 血液腫瘍科 伊豆津 宏二 | 39分 | 2024年12月 | 2025年2月 |

※基礎研修(2)の「家族支援」と「妊孕性（がんと生殖医療）」も出来上がり次第、公開予定です。なお、これら2講義は修了要件には含めません。

| 区分 | プログラム | 講義内容詳細 | 内容分類 |
|---------|-------|--|------|
| 基礎研修(1) | がん対策 | <p>がんは我が国の死因の1位であり、約2人に1人ががんになる。本講義では、国ががん対策基本法に基づいて作成しているがん対策推進基本計画と、第4期がん対策推進基本計画に沿った国のがん対策を概説し、相談支援・情報提供に関わる内容を特に取り上げる。さらに現在取り組みを進めている妊孕性温存、治療と仕事の両立支援、アピアランスケアの各論についても紹介する。</p> <p>【キーワード】 がん対策基本法、第4期がん対策推進基本計画、がん診療連携拠点病院、妊孕性温存、治療と仕事の両立支援、アピアランスケア</p> | 基盤科目 |
| | 相談支援 | <p>がん専門相談員は、患者や家族等の相談者がその人らしい生活や治療選択ができるように支援することを役割とする。本講義では、日本のがん対策の中でのがん専門相談員の位置づけを歴史的経緯を踏まえて説明した後、がん専門相談員にとって業務の指針となる、がん相談支援センターやがん専門相談員に求められる基本姿勢、International Cancer Information Service Group (ICISG)の“Core Values”、がん相談10の原則、がん相談支援のプロセスについて詳しく解説する。</p> <p>【キーワード】 がん専門相談員、基本姿勢、CoreValues、がん相談10の原則、がん相談支援のプロセス</p> | 基盤科目 |
| | 相談支援Ⅱ | <p>がん専門相談員の役割とは、がん患者やその家族に対して科学的根拠とがん相談員の実践に基づく情報提供をすることで、その人らしい生活、治療選択ができるよう支援することである。本講義では、第一部に対象者理解、主訴とニーズ、アセスメントと支援について説明し、第二部にて連携・協働における相談員の役割、連携のメリット・デメリットについて説明する。</p> <p>【キーワード】 がん相談員の役割、対象者理解、主訴、ニーズ、ストレングス、コミュニケーションスキル、アセスメント</p> | 基盤科目 |
| | 社会資源 | <p>がん専門相談員はアセスメントを通して、必要な社会資源を見極め、患者・家族が望む暮らしを実現する支援をする役割がある。近年のがん患者を取り巻く社会的な環境の変化やがん患者に対して活用できる各制度の概要、就労支援、紹介時の留意点などがん専門相談員が果たすべき社会資源の活用に必要な情報を幅広く解説する。</p> <p>【キーワード】 社会資源、公的制度、就労支援、高額療養費制度</p> | 基礎科目 |
| | 臨床腫瘍学 | <p>がんの基礎的な知識、検査、治療の考え方、がん治療における現在の問題点やトピックについて紹介する。</p> <p>【キーワード】 がんの原因、がんの検査、がん治療、セカンドオピニオン、腫瘍マーカー、検診、臨床研究、標準治療、ガイドライン、分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬、ゲノム検査・医療、遺伝子異常、緩和ケア、医薬品の開発、ドラッグロス、経済毒性</p> | 基礎科目 |
| | 緩和ケア | <p>緩和ケアとは、生命を脅かす疾患に罹患した患者、家族、介護者の様々な苦痛を予測、予防、軽減し、QOLを高めることである。本講義では、緩和ケアの定義の変遷を概観し、緩和ケアの目標、対象、現状、基本的緩和ケアと専門的緩和ケアの相違、療養場所、疼痛の治療法、疼痛の評価法を紹介する。</p> <p>【キーワード】 緩和ケアの定義、緩和ケアの目標、緩和ケアの対象、専門的緩和ケア、療養場所</p> | 基礎科目 |

| 区分 | プログラム | 講義内容詳細 | 内容分類 |
|---------|-------------------|---|--------|
| 基礎研修(1) | 精神腫瘍学 | <p>がん患者・家族は、診断時のみならず、治療期、経過観察時にも心の変化が生じやすい。相談員として、患者・家族に対応する際の基本的なコミュニケーションを確認するとともに、不安や抑うつ、適応障害、せん妄、否認、怒り、統合失調症の症状とその対応について学ぶ。また、今年新たに発達障害のある方への有効なアプローチを加えた。さらに、希死念慮、自殺のリスクアセスメントについても紹介し、チームアプローチのポイントについても言及する。</p> <p>【キーワード】 基本的なコミュニケーション、心の変化、3大精神症状、否認・怒り、精神疾患、発達障害、希死念慮、自殺対策、チームアプローチ</p> | 基礎科目 |
| | 放射線治療 | <p>放射線治療は、手術・化学療法と並んで、がんの三大治療の一つである。本講義では、放射線治療の目的や放射線治療の装置と特徴等の基本的知識、サイバーナイフや粒子線といった最新の放射線技術、各種がんにおける放射線治療の目的、放射線治療の流れとスケジュール、放射線治療の副作用と対策、そして費用について解説をする。</p> <p>【キーワード】 放射線治療、IMRT、放射線治療装置、粒子線、根治治療、緩和治療、治療開始までの流れ、副作用、費用</p> | 基礎科目 |
| | 手術療法 | <p>「手術」に関する新規の講義である。旧来の直視下手術に加え、鏡視下手術、ロボット支援下手術の特徴を外科医の視点から紹介する。また、最近増加している縮小手術についても取り上げ、根治性、安全性、機能性を考慮した手術療法の進化とその傾向をデータを用いて解説する。さらに、高齢者の手術が増加している現状を踏まえ、意思決定支援にかかわる際のポイントも織り込まれている。</p> <p>【キーワード】 手術、適応、術前管理、手術方法による特徴、合併症、高齢者の手術</p> | 基礎科目 |
| | 薬物療法 | <p>がんの治療法の1つである薬物療法について、目的や種類、適応条件、副作用、投与方法を紹介する。</p> <p>【キーワード】 細胞障害性抗がん剤、分子標的薬、内分泌療法、免疫療法・細胞療法、免疫チェックポイント阻害薬</p> | 基礎科目 |
| | コミュニケーションスキル | <p>相談に訪れるがん患者、家族らは身体的苦痛のみならず、がんやがん治療による心理・社会的苦痛を抱えている。相談員は主訴に対応するだけでなく、混沌とした状況に対話を通して整理、理解することが肝要である。本講義では、がん相談員として必要なコミュニケーションスキルの種類と方法、対象者理解の具体に加え相談員自身が自己知覚する重要性について紹介し、相談員として期待される役割を発揮するための知識・スキル・態度を学ぶ。</p> <p>【キーワード】 コミュニケーションスキル、傾聴、質問、対象者理解、自己知覚</p> | 基礎科目 |
| | がん相談支援センターに期待すること | <p>がん相談支援センターは、がん患者・家族等からの強く熱い想いにより誕生した。がん対策基本法の閣議決定から第4期がん対策推進基本計画までの変遷、携わった患者委員の思いを紹介する。また、がん患者・家族の心理、社会的苦悩を具体的に解説し、がん相談支援センターに期待することを実際の患者・家族の立場から説明する。</p> <p>【キーワード】 がん対策、患者・家族等の思い、がん相談支援センターへの期待</p> | 基礎科目 |
| 基礎研修(2) | がん予防 | <p>巷にはがんが予防できるという食品・食生活等いろいろな情報があふれている。本講義では、科学的根拠に基づく日本人のためのがん予防について紹介する。また、がん予防に関するよくある相談や、相談対応の際に活用できる情報源も併せて紹介する。</p> <p>【キーワード】 5つの健康習慣と感染予防</p> | 実践応用科目 |

| 区分 | プログラム | 講義内容詳細 | 内容分類 |
|----------|---|--|--------|
| 基礎研修(2) | がん検診 | <p>がん検診は、がんの死亡率減少を目指して、無症状の健康な集団からがんの疑いのある人、無い人を選別することを目的としている。本講義では、がん検診の種類や流れ、がん検診における利益・不利益の考え方、がん検診マネジメント、現在実施されている受診率対策について紹介する。</p> <p>【キーワード】 がん検診の利益・不利益、がん検診アセスメント、がん検診マネジメント、受診率対策</p> | 実践応用科目 |
| | 診療ガイドラインとその活用 | <p>インフォデミックな社会において患者・家族を支援するためには、確かな医療情報を見極め、活用することが求められている。前半は、がん専門相談員がぜひ活用していきたい診療ガイドラインについて、作成目的や活用のポイント、活用する際の注意点などを紹介する。後半は、実際にガイドラインを活用した情報支援について、「ヘルスリテラシー」に基づくアセスメントの視点も踏まえながら事例を通して紹介する。</p> <p>【キーワード】 情報、インフォデミック、診療ガイドライン、ヘルスリテラシー</p> | 実践応用科目 |
| | 支持療法 | <p>がん治療をおこなうにあたって、副作用や合併症の出現は不可避である。本講義では、先ずがん患者の多様な気がりや困りごとを、データに基づいて解説する。次に、手術療法・化学療法・放射線療法でおこりやすい副作用・合併症と、それぞれの症状に対するケアや日常生活上の工夫について具体的に紹介する。また、近年注目されているアピアランスケアについても概説する。</p> <p>【キーワード】 がん治療、支持療法、副作用、合併症、悪心・嘔吐、末梢神経障害、皮膚障害、口内炎、脱毛、リンパ浮腫、アピアランスケア</p> | 実践応用科目 |
| | 臨床試験 | <p>臨床試験は未来の患者さんに対して最適な治療法を明らかにすることを目的とした計画的実験である。どのように治療法が確立されていくのか、臨床試験の段階、臨床試験に参加する利益・不利益、臨床試験の種類等を標準治療と対比しながら概説するとともに、臨床試験についての相談を受けたときの相談員としての留意点を解説する。相談の中で臨床試験を探す患者や家族の情報収集をサポートするにあたり、どこを活用し調べていくのか、がん情報サービスを用いて臨床試験を探す際の方法や留意点について解説する。</p> <p>【キーワード】 臨床試験、標準治療、治験、先進医療、患者申出療養、臨床試験の探し方、がん情報サービス、jRCT</p> | 実践応用科目 |
| | 高齢者とがん | <p>超高齢社会が到来している。高齢者のがん治療では、進行してからの発見が多いことや治療の差し控え、不適切な意思決定の懸念、支える家族の負荷増大等が懸念されている。個々の高齢者に応じた適切な支援を考えるにあたっておさえておきたい、高齢者総合的機能評価(CGA)を始めとする高齢者をアセスメントするための考え方を紹介する。また、認知機能が低下した際の意思決定支援の考え方を紹介する。</p> <p>【キーワード】 フレイル、高齢者総合的機能評価(CGA)、認知症、意思決定支援、ノーマライゼーション</p> | 実践応用科目 |
| AYA世代とがん | <p>AYA世代への支援については、令和4年8月の「がん診療連携病院などの整備に関する指針」および「小児がん拠点病院などの整備に関する指針」にも明記され、施設や地域において連携して取り組む必要がある。本講義では、AYA世代の特徴、治療上の問題、患者ニーズ、就学・就労支援、子ども（親）への伝え方、晩期合併症、長期フォローアップについて概説する。</p> <p>【キーワード】 AYA世代、AYA世代患者のニーズ、就学支援、就労支援、晩期合併症、長期フォローアップ</p> | 実践応用科目 | |

| 区分 | プログラム | 講義内容詳細 | 内容分類 |
|---------|--------------|---|--------|
| 基礎研修(2) | 相談対応の質の評価 | <p>がん相談支援センターで求められるがん相談の品質基準やそれを保つための活動について紹介する。また、がん相談のプロセス評価を行う「がん相談対応評価表」の作成経緯、記入の仕方、注意点、その後のグループディスカッションの目的やルールについて紹介する。さらに、がん相談支援センター内でディスカッションを行う時に障壁となる課題解決のヒントを伝える。</p> <p>【キーワード】 相談対応の質保証、相談対応のプロセス評価、がん相談対応評価表</p> | 実践応用科目 |
| | がん情報サービスの使い方 | <p>がん情報サービスウェブサイトは、相談員にとって情報支援の重要ツールである。また、確かで安心安全なサイトとして、相談者との共通言語ともなりうるものである。2021年のサイトリニューアルを機に、患者家族が主体的に意思決定できる一助として活用できるよう、サイトの情報収集の仕方、相談支援に活用する具体例などを解説する。</p> <p>【キーワード】 がん情報サービスとは、確かながんの情報、がん情報サービスウェブサイトの活用法</p> | 実践応用科目 |
| | がんゲノム医療 | <p>がんゲノム医療は第4期がん対策推進基本計画にも明記され、ゲノム医療を必要とするがん患者が全国どこにいても受けられるような体制整備が目指されている。本講義では、がんゲノム医療とは、がん遺伝子パネル検査、がんゲノム医療の提供体制、リキッドバイオプシー、がんゲノム医療の近未来について紹介する。</p> <p>【キーワード】 がんゲノム、遺伝子、コンパニオン診断薬、遺伝子パネル検査、リキッドバイオプシー</p> | 実践応用科目 |
| | 患者会・ピアサポーター | <p>がん患者（サバイバー）は、だれかを支えるエンパワメントの種を持っており、その力を発揮できるような環境づくりが求められている。本講義ではその環境づくりのひとつである、がんサロンやピアサポーターの個別面談等医療機関で取り組むピアサポート運営に関して、場がもたらす効果や参加者とともに作り上げられるサロン作りの実践例、私たちががん相談支援センターの役割等を解説する。</p> <p>【キーワード】 ピアサポート、ピアサポーター、がんサロン</p> | 実践応用科目 |
| | 在宅医療 | <p>コロナを契機に在宅医療や在宅看取りへの関心が高まっている。本講義では、相談員に知ってほしい在宅医療で利用が可能なサービスの実例、介護保険制度と活用、在宅看取りの現状について紹介する。</p> <p>【キーワード】 在宅医療、介護保険制度、訪問看護、自宅、看取り</p> | 実践応用科目 |
| | 肺がん | <p>肺がんは、罹患数、死亡数が男女ともに上位に位置し、予後の悪いがんとして知られている。本講義では、はじめに肺がんの危険因子や症状といった基礎知識の他、検査の流れ、組織型・ステージ分類の考え方について紹介する。その上で、各組織型分類・遺伝子変異・ステージによる治療の概要、ベネフィット、リスクについても紹介する。</p> <p>【キーワード】 組織型分類、ステージ分類、手術、放射線治療、分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬</p> | 各論専門科目 |
| | 乳がん | <p>乳がんの疫学、検査、診断、治療、検診について紹介する。また、遺伝性乳がんや妊孕性温存についても説明している。</p> <p>【キーワード】 乳がん、遺伝性乳がん、妊孕性温存</p> | 各論専門科目 |
| | 大腸がん | <p>ここ50年で大腸がんによる死亡数は約10倍増加している。本講義では、大腸がん部位別発症頻度や大腸癌の死亡数・リスク、診断や分類等についてまず解説する。次に、進行度別治療法を紹介した上で、大腸がんの治療法を具体的に説明する。手術では内視鏡や人工肛門増設術等について、化学療法では用いられる薬剤の成績と副作用について、最後に一般的な質問事項について説明する。</p> | 各論専門科目 |

| 区分 | プログラム | 講義内容詳細 | 内容分類 |
|---------|-------|--|--------|
| 基礎研修(2) | | 【キーワード】内視鏡、内視鏡的治療、ストーマ、術後補助療法、切除不能再発大腸がん、副作用、緩和ケア | |
| | 胃がん | 胃がんの罹患数は増加傾向にあり、特に高齢者の胃がんが増加している。本講義では、まず胃がんを理解するための基礎知識として、死亡数・生存率・危険因子を紹介する。その後、検診・診断・進行度分類、各治療の内容を紹介する。 【キーワード】罹患数、死亡数、リスク因子、ピロリ菌、症状、病期、内視鏡治療、手術、ロボット手術、ダンピング症候群、化学療法、HER2 | 各論専門科目 |
| | 血液がん | 本講義では血液がんの三大疾患である白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫の検査、病態および治療の概論を解説する。血液がんは多くの病型が存在し、それにより治療や臨床経過、予後などが異なる。近年新たな治療薬・治療法が数多く登場し治療効果の改善が見られている一方、再発・難治性の場合の治療成績は十分とはいえ、今後の治療開発が期待されている。 【キーワード】白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、造血幹細胞移植、CAR-T療法 | 各種専門科目 |
| | 前立腺がん | 泌尿器がんでは、前立腺がん・膀胱がん・腎臓がんのそれぞれの特徴を紹介する。これら3つのがんの疫学・検査と診断の流れ・臨床病期分類・治療選択・治療にともなう副作用や合併症について解説する。前立腺がんでは監視療法や手術支援ロボット、IMRTや粒子線・組織内照射、膀胱がんでは膀胱内注入療法や尿路変向、腎がんでは凍結療法や新しい分子標的薬や免疫チェックポイント阻害剤等、各がんでの特有の事項を紹介する。 【キーワード】監視療法、手術支援ロボット、IMRT、粒子線、組織内照射、内分泌療法、膀胱内注入療法、尿路変向、分子標的薬、免疫チェックポイント阻害剤 | 各種専門科目 |
| | 肝胆膵がん | 肝がん、胆道がん、膵がんは、いずれも難治性のがんである。本講義では、これら3つのがんの原因や診断・治療について、それぞれ概説していく。具体的には、肝がんでは肝炎と肝がんの関連、ラジオ療法等の局所治療を含めた治療法、医療費、胆道がんでは診断、治療法の選択と内容（特に化学療法の進歩）、膵臓がんでは診断、治療を切除例・局所進行例・遠隔転移例・免疫療法にわけて解説する。 【キーワード】肝がん、肝炎、局所療法、胆道がん、膵がん、免疫療法 | 各種専門科目 |